



直峰通信

令和3年1月20日（水）発行

「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。…」

これは川端康成の小説「雪国」の冒頭ですが、浦川原の長いトンネルを2本抜けると、そこは安塚です。10日には積雪量がついに300cmを超え、安塚分校の校舎、体育館もこんな具合になってしまいました(写真)。これでも校舎前は雪が積もるたびに、近くの燃料屋さんに重機で除雪していただき、体育館軒下は技術員さんに雪をのけてもらっていたのです。

過去も300cm以上、雪が積もることはあったらしいのですが、これほど一気に積もったことはない、安塚在住の学校警備員さんが言っておられました。

年末の12月、安塚高校同窓会東京支部の宮川敏夫様からうれしいお便りをいただきました。この「直峰通信」を通して、安塚分校の教育活動の状況を懐かしく興味を持って見ていただいているとのことでした。関東でお暮らしの同窓の皆様には、安塚らしい画像をお送りできていることと思われれます。

安塚にいと、これほどの雪を積もらせる自然の力に感心しますが、この自然に対処しながら生活している地域の方々にも感心します。雪掘りひとつとっても手際がよく、雪下ろしを見ていると、あれだけの雪の塊をもの見事に片付けてしまいます。行政の方々や重機を操る方々の除雪の力量と労力には、恐れ入るばかりです。

そこで暮らす生徒もこのような環境で、たくましく育ち、美しい感性を育てていくのだと思います。

19日、再度強い寒波の到来で、電車が遅れ、虫川大杉駅から学校まで、電車通学の生徒はいつもの乗り継ぎバスに乗れませんでした。数名が歩いて登校しようとした矢先、バス会社さんが臨時にバスを運行してくださいました。吹雪の中でも歩こうとする生徒たちや、電車の遅れに対応して臨時バスを出してくださったバス会社さん…、みな雪国ならではの強さや温かさのように思えました。



〔山でなくて体育館が隠れているのです〕

3学期始業式 1/7(木)

校長先生から「1年の計は元旦にあり」という言葉についてお話しがありました。

これは中国明代の「月令広義」という書物が由来であるという説と、毛利元就が語ったという説があり、後者では、「一年の計は春にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(けいめい)にあり」と後が続くということです。朔は月初めの日、鶏鳴は鶏の鳴き声のことから一番鶏が鳴く早朝のことを指します。

毛利元就の言葉は、1年、1月、1日それぞれの最初のときこそが計画を立てるべきときであり、何事も最初が肝心であるという戒めを意味しています。生徒の皆さんもこの言葉をぜひ活かしてほしいという訓話でした。

また、2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals

-SDGs)」についても触れられました。これを達成するためには、国としてはもちろん、個人個人での身近な努力も必要になってくる。一方、生徒一人ひとりにおいても、自分の目標を達成するために、身近な短期目標を設定するとともに、地球規模の問題も視野に入れた長期的な視点を持って、将来、広い世界で貢献できる人材になってほしいことが生徒に伝えられました。

第2回球技大会 12/25(金)

生徒会による初の行事、球技大会が行われました。安塚分校ならではの、バドミントン、卓球、バスケットボールと、みなが複数の種目で体を動かし、スポーツを楽しみました。



運営にあたってくれた生徒会の皆さん

安塚分校：保健だよりから



雪が多くても 冬を元気に乗り切ろう！



大雪や吹雪は、体の体温を下げ免疫機能を低下させます。コートやマフラー・手袋をして登下校している人もいますが、バスや電車待ちの時間に体を冷やしてしまわないよう保温を心掛けましょう。

♥ 肌着や防寒着を着るべし！
 ・保温効果の高いヒート○○やタイツをはくと、熱を逃がしません。
 ・外出時はコートなど防寒着を着よう。

♥ 朝食で体を温めるべし！
 ・ご飯やみそ汁などの消化・吸収の過程から熱が作られ、体温が上がります。
 ・朝食をとり体内時計をリセットしよう。

♥ 乾燥肌を防ぐべし！
 ・冬は空気が乾燥しているため手や指先の皮膚が割れたり、全身にかゆみが出たりします。ハンドクリームや保湿クリームをぬり、皮膚をカバー。引っかいて傷を作るとは皮膚のバリアー力が低下します。



♥ 睡眠時間を確保すべし！
 ・休養や睡眠は、疲れた体や心を休め、体力や気力を元に戻してくれます。
 ・寝ている間に体を治したり脳を休めたり、免疫の働きを高めたりしています。

♥ 3つの首を温めるべし！
 ・首は太い血管が流れていて熱が逃げやすいのでマフラーで保温。手首に手袋、足首に長めの靴下で温めよう！

♥ 時間にゆとりをもつべし！
 ・「冬道は夏の2倍くらい時間にゆとりをもて」と言われています。早めに準備して家を出よう。
 ・屋根雪の落下、雪壁のくずれに注意して歩こう。

【今後の予定】

- 1/27～29
3年学年末考査
- 2/10～16
1.2年
学年末考査
- 2/16
合格体験を聞く会
- 2/16～18
高校入試
一般出願期間
- 2/18
学校スキー
- 2/19
第3回PTA役員会

新潟県立高田高等学校安塚分校

〔担当:教頭 沢田貴博〕

〒942-0411 上越市安塚区下方129番地
 HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>

電話 025-592-2306 FAX 025-592-3541
 mail school@takakayszk-h.nein.ed.jp